

## 教育普及活動の紹介 ②



### 巣箱を作ろう



あけまして、おめでとうございます。自然を愛し心ふれあう 明るく住みよいみんなのまちひろつかをめざし、まちづくりの新しい鼓動が響き渡って来ます。

今回は、11月29日に行われた「巣箱を作ろう」の活動をご紹介します。生物担当の浜口学芸員を中心に、市内の小・中学生が博物館に集って、朝から巣箱作りが行われました。開発が進んで自然の林がなくなると、鳥は巣作りの場所を失い数が減って行きます。鳥は林やそのまわりでムシをたくさん食べ、自然のバランスを守る大切な役目をしているから、巣箱作りは大変重要なことです。午後からは、高麗山へ出来たての巣箱をかけに行きました。以下は、参加者の感想文です。

◇「この巣箱に鳥が住みやすく幸福に住めるように・・・」、ぼくはこのように事を願いながら製作しました。

今年で二回目の参加です。前回にくらべ、のこぎりや金づちの使い方も慣れたので、だいぶ早く出来上りました。みんな苦勞しているようでしたが、一生けんめいでした。

また次回も参加したいです。(花水小 五年 谷直樹)

◇今年二年目なので、何もかもスムーズに進みました。

中学生は僕一人でしたので、

心細く、巣箱をかける途中途中で友達に会った時は、はずかしかった。

けれど、一年後にはまた作りたと思っています。(江陽中 一年 伊東 悟)

◇すばこを作ったとき、とてもゆかかったです。お父さんが板をかなづちでたたいたら、「バリン」とわれてしまいました。私は大わらいをしたかったけれど、みんながいたのでがまんしました。

すばこをかけたこま山までは遠かったけど、遠足のようにとてもおもしろかった。

来年ことりが巣を作っているか見に行くのが楽しみです。(みずほ小 四年 山口明日香)

◇ぼくは鳥が好きです。いちど野鳥をかってみたいと思っていました。だから巣箱作りに参加しました。これをきっかけに野鳥をかんさつしようと思ったから、がんばって作りました。

鳥が巣箱に入ってほしいと思います。これからもたくさんの野鳥に会いたいです。

(花水小 五年 軽部郁雄)



## 1月の行事

|    |   |                                       |
|----|---|---------------------------------------|
| 1  | 金 | 休館日                                   |
| 2  | 土 | 〃                                     |
| 3  | 日 | 〃                                     |
| 4  | 月 | 〃                                     |
| 5  | 火 |                                       |
| 6  | 水 | プラネタリウム(臨時)                           |
| 7  | 木 | プラネタリウム(臨時)<br>デッサン教室                 |
| 8  | 金 | デッサン教室                                |
| 9  | 土 | プラネタリウム<br>土曜観察会「シジミウカラの群」<br>石仏を調べる会 |
| 10 | 日 | プラネタリウム                               |
| 11 | 月 | 休館日                                   |
| 12 | 火 |                                       |
| 13 | 水 |                                       |
| 14 | 木 |                                       |
| 15 | 金 |                                       |
| 16 | 土 | プラネタリウム<br>古文書講読会                     |
| 17 | 日 | プラネタリウム<br>自然観察会「ローム層の観察」             |
| 18 | 月 | 休館日                                   |
| 19 | 火 |                                       |
| 20 | 水 |                                       |
| 21 | 木 |                                       |
| 22 | 金 |                                       |
| 23 | 土 | プラネタリウム<br>石仏を調べる会、土曜観察会              |
| 24 | 日 | プラネタリウム<br>体験学習「日時計を作ろう」              |
| 25 | 月 | 休館日                                   |
| 26 | 火 |                                       |
| 27 | 水 |                                       |
| 28 | 木 |                                       |
| 29 | 金 |                                       |
| 30 | 土 |                                       |
| 31 | 日 |                                       |

## 2月の行事

### ●体験学習シリーズ No. 62



#### 「陶器を作ろう」

湯呑み茶碗の機能を調べ、より使い易い湯呑み茶碗を作ってみよう。

期間 昭和57年2月2日(火)～2月5日(金)

会場 科学教室

対象 一般成人(高校生以上)

定員 30名

会費 1人500円

申し込み 1月30日までに往復ハガキで、氏名、年令、住所、電話番号を明記のうえ博物館宛申し込む。多い時は抽選を行う。

### ●土曜観察会

2月13日 水辺の足跡探し 須賀付近

3月13日 社寺の森 北金目、真田付近

申し込み 参加希望者は60円切手を同封して申し込み。博物館の受付でも参加のしおりを配布中。



### ●星を見る会

#### 「太陽黒点を見よう」

太陽の表面に表われる黒点を調べ、スケッチをとります。

日時 2月14日(日)11時半～13時

集合場所 博物館科学教室

持ちもの エンピツ(HかHB程度のもの)  
赤エンピツ

参加は自由です。当日科学教室にお集まりください。

### ●寄贈品コーナー

2月、3月は、寄贈を受けた美術品(油絵、水彩画、彫刻、工芸品)を展示する。

● 自然観察会

日時 2月14日(日) 雨天中止  
9時～16時

場所 相模原貯水地(相模原市麻溝台)

内容 10種類2000羽をこえるカモの観察  
申し込み 2月5日までに往復ハガキで。申し  
込み多数の時は抽せんで30名。

12月受入寄贈資料 (敬称略)

12. 3 東下駄 平塚市富士見町8-14  
竹内アサ  
" 11 カブキリ 平塚市岡崎5437 飯  
田元治  
" 25 なぎなた 平塚市中里24-30  
萩原政雄

ご協力を深く感謝いたします。



発掘された  
平塚

古代家族長の墓 -横穴墓-

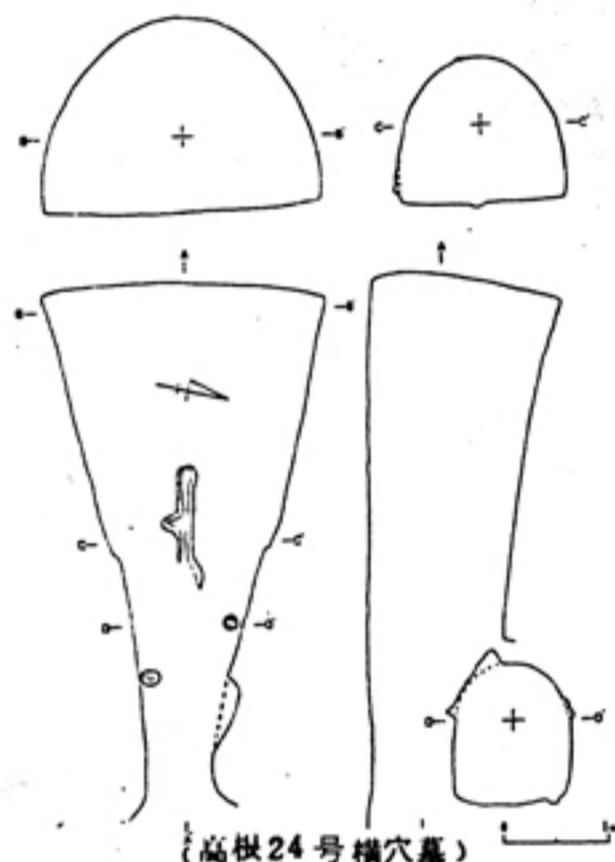
古墳時代後期(AD500年)以降になると、従来の盛土による古墳から、山の斜面に穴をほった横穴墓(防空壕や貯蔵穴に似ている)が造られるようになりました。この横穴墓は横穴式石室をもった古墳と内部構造が非常に類似しています。

横穴式石室が石室内部を「黄泉国」と想定し、現世の再現を確信した送葬観念にもとづいて構築されている事から、横穴墓は横穴式石室を媒体として、古代送葬観念と墓制構造を横穴構築に体现した墓制の一形態と言えます。また何回でも容易に追葬できる点と数基から数百基と群をなしているのが大きな特徴と言えます。

分布は北海道、四国を除いた各地方に造られており、関東地方でも埼玉県、神奈川県、千葉県、東京都が分布密度が高く、全国屈指の密集地域となっています。特に埼玉県の吉見百穴は良く知られています。神奈川県内では多摩丘陵、三浦半島、鎌倉市周辺、大磯丘陵に集中して分布しています。一般に限られた地域に片寄っている点から、何らかの政治情勢と関係すると言われていました。

また横穴墓の内部構造を細かく見ると、地域ごとに形態差が認められ、また時の流れによっても変化し多種多様の様相を示しています。

平塚市の横穴墓群は13群93基が確認されています。代表的なものに高根横穴群、根坂間横穴群、源水谷横穴群、八重久保横穴群があります。また最近発見された万田熊ノ台横穴群は、20数基からなり、鉄剣、直刀、鉄鏃、玉類、須恵器、土師器など豊富な内容をもった遺物が出土しています。特に鉄剣の出土は全国的にも数少ない例です。



(高根24号横穴墓)

また古く調査された高根横穴からは金銅製馬具、根坂間横穴から青銅製環鈴など貴重な資料が出土しています。

さていったいどのような人が葬られたのか興味ある点ですが、実際に決め手となる資料は皆無で、非常に難しい問題です。一般に共同体内部の崩壊に伴ない、新しく台頭してきた有力家父長の墓と言われています。

この横穴も八世紀中頃になると造営されなくなり、消滅していきます。理由は、大化改新の薄葬令(646年)による規制と仏教文化の普及や火葬にあると言えます。この横穴墓の被葬者層は非常に限られた人達で、一般の人々がどのような形で埋葬されたかは、明らかではありません。(A)

## みんなのサロン



(みなさんのご意見)

私は、当博物館のプラネタリウムに魅せられて、毎月2回程訪れます。会社の仕事で半年あまりオーストラリアに行き、週末になると手あたりしだいに博物館、美術館などに足を向けたものです。今ではすっかり諦めてしまいましたが、大学時代には、学芸員になりたくてあれこれと勉強もしました。

勝手とは思いますが、2、3言いたいことを言わせていただきます。当館は、大人と小人のどちらに重点をおいているのでしょうか？ 私は、小人の方に多くと思っています。

予算を頭に入れないとするならば、地球のはじまりから現在に至るまでの、生物の歴史やのりものなどの歴史を、化石や標本を混えて展示してはどうでしょうか？

神奈川、平塚の歴史もたしかに重要ですが、そういった郷土史は、別に資料室をもうけて、そこで調べられるという形式をとってみては如何でしょう。

(茅ヶ崎市 小林雅人)

## 天文コーナー



チャンス。それも179年に一度の、またとなないチャンスが、今年の夜空を飾ります。惑星の直列現象が見られるのです。それも、よく注意すれば肉眼でも見えるのですから、素晴らしいではありませんか。

ご存知のように、太陽系の惑星は、太陽を中心にして、水星、金星、地球、火星、木星、土星、天王星、海王星、めい王星と、それぞれの軌道と周期をもって回っています。それが今年は、これらの惑星が、ほぼ一直線上に並ぶというのですから、179年に一度のチャンスをぜひ逃さないで下さい。

特に5月と11月ははっきりと見られますヨ。

(博物館からのお答え)



当館活動の主たる対象は、特に展示の面において、小学校高学年から中学生までを意識して作られたものといえます。がしかし、すべての展示がそのように作られている事を意味しないのはもちろんご理解いただけるとと思います。また、当館の活動は、展示ばかりではなく、様々な普及活動(出版物および各種館内外の活動)を通じて、皆様に博物館の活動を理解して戴くことを心掛けています。こうした目標を掲げた背景は、館利用者の興味、活動に対する要望が多様であると考え、その対応を計るためのものといえます。その意味で、当館は、自然と人文の二つの分野を持つ総合博物館として出発しました。そして出来る限り地域の自然や社会と密接な関係を保ちながら、展示その他を通じて皆様に様々な問いかけをしていこうとしています。したがって、百科事典には現れない地域の自然と社会を具体例を通して解明したいと考えているのですが、基本的な知識・情報を物を通して伝える博物館としての使命を決してわすれている訳ではないことをご理解下さい。

12月  
22日

12月  
1日

11月  
25日

学芸日誌

文化公園整備にともない、D52機関車クレーンで移転。

宇治市、釧路市、県からの視察あいつぐ。

鳥海青児作品搬入。

寄贈品コーナー展示替え。「野鳥の世界」を展示(浜口)。

葉山町、名古屋港管理組合等の視察あいつぐ。

定例会議。

館内に復元展示してある「相模の家」(民家)の障子修理、張り替え。

はくぶつかん

VOL. 6 10通巻69号 印刷 平塚市総務部総務課文書係 ©3000

発行 平塚市博物館 〒254 平塚市浅間町12-41 TEL 33-5111